

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

だれにでも「ここにいと落ち着くな」と思える場所があるのではないだろうか。わたしにとっての一番大切な場所は、家の裏にある小さな庭です。庭といっても広くはなく、畳四枚ほどの大きさしかありません。でも、その庭にはわたしにとって大切な思い出がまつまっています。

その庭には、一本の柿の木が立っています。幹はごつごつしていて、夏には青い葉が生いしげり、秋には大きな実をつけます。幼いころ、わたしはよくその木に登りました。最初はうまく登れなくて、すぐにすべり落ちてしまいました。何度も挑戦するうちに、枝の上に腰かけられるようになりました。そこから見える空は、庭に立っているときよりもずっと広く、遠くの山や川まで見渡せる気がしました。

柿の木の下には、小さなベンチがあります。これはおじいさんが作ってくれたものです。まだわたしが小学校に入る前、休日に木材を切り、釘を打ち、汗をかきながら作ってくれました。おじいさんは「ここに座って本を読んだり、のんびり空を見たりするといい」と言いました。その言葉どおり、わたしは学校から帰るとそのベンチに座り、教科書を読んだり、友だちから借りたマンガを開いたりしました。ベンチはすこし古くなってきましたが、座ると木のぬくもりが伝わり、安心するのです。

庭は季節ごとにちがう表情を見せます。春にはチューリップやパンジーが色とりどりに咲き、夏にはアサガオがフェンスをつたってのびていきます。秋には落ち葉が足もとをカサカサと音を立て、冬には雪が庭を白くつつみこみます。その変化を見るたびに、わたしの心も明るくなったり、しんと静まったりするのです。

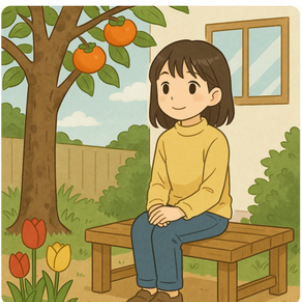
ある年のこと、学校でいやなことがありました。友だちとけんかをして、心が重くなり、家に帰っても笑顔になれませんでした。そのとき、いつものよ

うに庭のベンチに座りました。空は夕焼けで赤くそまり、柿の木の枝が影をのばしていました。わたしは声を出さずに泣きました。でも、不思議なことに、庭にいと少しづつ気持ちが落ち着いていったのです。柿の木や花たちが「大丈夫」とささやいてくれているように感じました。その日から、庭はただ楽しいだけでなく、心をいやす場所にもなったのです。

おじいさんが病気で入院したときも、わたしはよく庭に出ました。ベンチに座り、「早く元気になって」と祈るような気持ちで空を見上げました。やがておじいさんが退院し、庭と一緒に柿をもいだときは、本当にうれしかったです。柿の実をかじりながら、「この木とベンチがある限り、わたしの心は守られている」と思いました。

今、わたしは五年生になり、宿題や習いごとで忙しい毎日を送っています。それでも庭に出ると、時間がゆっくり流れるように感じます。柿の木を見上げ、ベンチに座ると、心の奥にある不安や迷いが少しずつ消えていくのです。

わたしの一番大切な場所——それは、この小さな庭です。大きな遊園地や遠くの観光地よりも、わたしにとっては特別な意味を持っています。ここで泣き、笑い、祈り、成長してきました。これから先も、わたしが困ったとき、喜んだとき、この庭はきつとそっと見守ってくれるでしょう。



- (1) 筆者の「一番大切な場所」はどこですか。本文から書き抜きなさい。

- (2) 柿の木の下にあるベンチについて、本文の内容に合うものを一つ選びなさい。

- ① 父が買ってきたベンチである。
- ② 祖母が庭に置いたベンチである。
- ③ おじいさんが手作りしてくれたベンチである。
- ④ 友だちがプレゼントしてくれたベンチである。

答え ()

- (3) 次の①と②に当てはまる言葉を本文より抜き出さない。

庭の春には (①) や (②) が咲き、夏にはアサガオがフェンスをのぼる

② _____

① _____

- (4) 学校で友だちとけんかをしたあと、筆者は庭でどのように気持ちを立て直しましたか。本文の内容に合うものを一つ選びなさい。

- ① ベンチに座り泣いているうちに気持ちが落ち着いていた。
- ② 庭で花をつんで友だちにあげて仲直りした。
- ③ 柿の木に登って遊ぶことで楽しくなった。
- ④ 本を読んでけんかのことを忘れてしまった。

答え ()

- (5) おじいさんが病気で入院していたとき、筆者は庭でどのような気持ちを抱いていましたか。本文の内容に合うように十五字程度で説明しなさい。

- (6) 柿の実と一緒にいだとき、筆者が「この木とベンチがある限り、わたしの心は守られている」と思ったのはなぜですか。三十字程度で説明しなさい。

- (1) 筆者の「一番大切な場所」はどこですか。本文から書き抜きなさい。

家の裏の小さな庭

- (2) 柿の木の下にあるベンチについて、本文の内容に合うものを一つ選びなさい。

- ① 父が買ってきたベンチである。
- ② 祖母が庭に置いたベンチである。
- ③ おじいさんが手作りしてくれたベンチである。
- ④ 友だちがプレゼントしてくれたベンチである。

答え (③)

- (3) 次の①と②に当てはまる言葉を本文より抜き出さない。

庭の春には (①) や (②) が咲き、夏にはアサガオがフェンスをのぼる

① チューリップ

② パンジー

- (4)

学校で友だちとけんかをしたあと、筆者は庭でどのように気持ちを立て直しましたか。本文の内容に合うものを一つ選びなさい。

- ① ベンチに座り泣いているうちに気持ちが落ち着いていた。
- ② 庭で花をつんで友だちにあげて仲直りした。
- ③ 柿の木に登って遊ぶことで楽しくなった。
- ④ 本を読んでけんかのことを忘れてしまった。

答え (①)

- (5)

おじいさんが病気で入院していたとき、筆者は庭でどのような気持ちを抱いていましたか。本文の内容に合うように十五字程度で説明しなさい。

解答例
早く元気になって欲しかった。

- (6)

柿の実と一緒にいいたとき、筆者が「この木とベンチがある限り、わたしの心は守られている」と思ったのはなぜですか。三十字程度で説明しなさい。

解答例
庭がこれまで自分を支え、安心や喜びを与えてくれたから。